

(様式第8号) 記載例

平成〇〇年〇月〇日

〇〇市町村長 殿

提出年月日を記載してください。  
実施状況報告書は対象活動及び推進活動の終了後1ヶ月又は平成30年1月末日のい  
ずれか早い期日までに対象活動を実施した農地が所在する市町村に提出してください。

提出先の市町村長名を記載してください。

組織名 環境営農組合

代表者名 農林 太郎



農業者団体等の代表者印又は代表者の個人印を押印してください。

### 平成29年度 環境保全型農業直接支払交付金に係る実施状況報告書

環境保全型農業直接支払交付金実施要領(平成23年4月1日付け22生産第10954号生産局長通知)の第9の4に基づき、平成29年度の環境保全型農業直接支払交付金の実施状況について、下記のとおり報告します。

記

#### 1. 環境保全型農業直接支払交付金の実施状況 (別紙)

(別紙)

### 環境保全型農業直接支払交付金の実施状況

#### 1. 自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の実施時期

・ 構成員が実施した対象活動についてまとめて記載してください。

・ 実施時期欄には、対象取組の開始から終了までの実施時期を記載してください。  
カバークロープ(緑肥): 播種からすき込みまでの時期  
堆肥の施用: 堆肥の施用時期  
有機農業: 播種(又は定植)から収穫までの時期  
(果樹等の永年性作物については、前作の収穫から今年の収穫までの時期)  
地域特認取組: 都道府県や市町村の指示に従ってください。

※ 対象取組、化学肥料及び化学合成農薬を5割以上低減する活動が2月、3月に終了する場合は見込みで記載してください。

対象取組		化学肥料及び化学合成農薬を5割以上低減する活動		備考
内容	実施時期	作物名	栽培時期	
カバークロープ	29年12月～30年3月	水稻	29年5月～29年10月	
堆肥の施用	28年9月	たまねぎ	28年9月～29年4月	
有機農業	29年5月～29年10月	水稻	29年5月～29年10月	
有機農業	29年4月～29年6月、 29年9月～30年2月	ほうれん草	29年4月～29年6月、 29年9月～30年2月	
IPMの取組	29年5月～29年10月	水稻	29年5月～29年10月	
冬期湛水管理	29年12月～30年2月	水稻	29年5月～29年10月	
草生栽培	28年5月～29年12月	りんご	28年11月～29年10月	3割低減

地域特認取組に取り組む場合は、取組名を記載してください。  
取組名が長い場合は、略称で記載することも可能です。  
(例)総合的病害虫・雑草管理(IPM)の実践→IPMの取組

化学肥料・化学合成農薬の低減割合の特例を活用する場合は、備考に記入してください。

作物名は、「水稻、飼料作物、麦・豆類、いも・野菜類、果樹・茶、花き・その他」程度の分類で記載することも可能です。

(注1)備考欄は、化学肥料及び化学合成農薬の低減割合の特例を活用する場合、その低減割合を記入すること。  
(注2)2月以降に活動が終了する場合は見込みを記載すること。  
(注3)有機農業の取組の場合、対象取組の実施時期は主作物の栽培時期を記入すること。  
(注4)必要に応じて欄を追加すること。

2. 自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の実施面積

面積は、対象活動別に構成員が実施した面積を合計した上で、アール未満を切り捨ててください。  
 ※構成員別に構成員が実施した面積のアール未満を切り捨てた上で、対象活動別に合計することもできます。

対象活動	実施面積
カバークロップの取組	0a
カバークロップの取組(ひえ)	0a
堆肥の施用の取組	0a
有機農業の取組	180a
IPMの取組	200a
冬期湛水管理(有機質肥料未施用、畦補強等実施)	0a
草生栽培	300a

カバークロップ、堆肥の施用、有機農業において、以下の場合は行を追加してください。

- ・カバークロップの取組において、「ひえ」に取り組む場合
- ・堆肥の施用の取組において、施用量に応じた10a当たりの交付単価の設定をしている場合
- ・有機農業の取組において、「そば、あわ、ひえ、きび及び飼料作物」に取り組む場合(都道府県が交付単価を8,000円/10aとしている場合を除く)

1 取 組 目	【必要に応じて行を追加してください】 カバークロップの取組(ひえ)	a
	【必要に応じて行を追加してください】 堆肥の施用の取組(水稲0.5t/10a)	a
	【必要に応じて行を追加してください】 有機農業の取組(そば、あわ等)	a

地域特認取組のうち、冬期湛水管理、江の設置、リビングマルチについては、以下のとおり記載してください。

冬期湛水管理	a
冬期湛水管理(有機質肥料施用、畦補強等未実施)	a
冬期湛水管理(有機質肥料未施用、畦補強等実施)	a
冬期湛水管理(有機質肥料未施用、畦補強等未実施)	a
江の設置	a
江の設置(作溝未実施)	a
リビングマルチ	a
リビングマルチ(小麦、大麦等)	a

2 取 組 目	カバークロップの取組	0a
	カバークロップの取組(ひえ)	50a
	堆肥の施用の取組	100a
	有機農業の取組	40a
	IPMの取組	0a
	冬期湛水管理(有機質肥料未施用、畦補強等実施)	100a
	草生栽培	0a
合計		970a

複数取組に取り組む場合、1取組目と2取組目に分けて記載してください。

- (注1) 構成員別実施面積(添付様式8)を添付すること。  
 (注2) 実施面積は、対象活動別(同一の対象活動であっても、1取組目と2取組目毎、単価毎)に構成員の実施面積を合計して、a未満を切り捨てた値を記載すること。  
 (注3) (地域特認取組名)には地域特認取組名を記入することとし、必要に応じて行を追加すること。  
 (注4) 5割低減の取組とカバークロップ(緑肥の作付け)を組み合わせた取組の場合は「カバークロップの取組」、5割低減の取組と炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用を組み合わせた取組の場合は「堆肥の施用の取組」に実施面積を記載すること。

3. 自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の実施を推進するための活動の内容

活動内容	実施時期
<b>○自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の技術向上に関する活動</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> ① 自然環境の保全に資する農業の生産方式に関する検討会の開催	4月、12月
<input type="checkbox"/> ② 技術マニュアルや普及啓発資料などの作成・配布	
<input type="checkbox"/> ③ 実証圃の設置等に関する取組の実施	
<input type="checkbox"/> ④ 先駆的農業者等による取組の実施	
<input type="checkbox"/> ⑤ 自然環境の保全に資する農業の生産方式に関する取組の実施	
<b>○自然環境の保全に資する</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 地域住民との交流会(田植えや収穫等の農作業体験等)の開催	10月
<input type="checkbox"/> ⑦ 土壌分析や生き物調査等環境保全効果の測定	
<input type="checkbox"/> ⑧ 先進的取組の展示効果を高めるための標示	
<b>○自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動により生産された農産物の販売促進に関する活動</b>	
<input type="checkbox"/> ⑨ 農産物の販路拡大等に向けた流通・販売業者や消費者等との意見交換会の開催や商談会への出展	
<input type="checkbox"/> ⑩ 農業者団体等における商品開発や共同ブランド・マークを活用した販売	
<input type="checkbox"/> ⑪ 農業者団体等の構成員の連携による直売	
<b>○その他自然環境の保全に資する農業生産活動の実施を推進する活動</b>	
<input type="checkbox"/> ⑫ 耕作放棄地を復旧し、当該農地において自然環境の保全に資する農業生産活動を実施	
<input type="checkbox"/> ⑬ 中山間地において自然環境の保全に資する農業生産活動を実施(農業者団体等の取組面積の過半が中山間地の場合に限る。)	
<input type="checkbox"/> ⑭ その他( )	

(注)該当する活動内容の□に■を入れる。

「⑬ 中山間地～」に取り組んだ場合には、チェックしてください。  
 (実施した時期については、記載不要です)  
 ※チェックは■又は☑にしてください。

4. 環境と調和のとれた農業生産活動規範の点検の実施

支援の対象となる農業者について農業環境規範に基づく点検の実施時期	12月
----------------------------------	-----

(注)農業者団体等において支援対象農業者が農業環境規範に基づく点検を実施したことを確認した時期を記載

農業者団体等において支援対象農業者が農業環境規範に基づく点検を実施した時期を記載してください。

5. 添付書類

- ・生産記録
- ・その他都道府県又は市町村が求める書類

生産記録、その他都道府県や市町村が求める書類を添付してください。

※ 生産記録については特に様式を定めていません。生産過程等において使用した肥料及び農薬、導入した技術など要件に即して対象活動を実施したことが確認できれば、「有機JASの認定書の写し」や「都道府県等の特別栽培農産物等の認定書の写し又は認定機関に提出した書類」を提出することで生産記録に代えることができますが、記載内容によっては追加で書類の提出を求める場合がありますので、都道府県や市町村の指示に従ってください。

## 自然環境の保全に資する生産方式を導入した農業生産活動の実施面積

組織名 環境営農組合

- ・ 構成員別に記載してください。
- ・ 対象取組については、様式第8号の別紙の2を参考に記載してください。
- ・ 複数の対象取組に取り組む場合は、複数行に分けて記載してください。
- ・ 複数取組に取り組む場合は、1取組目、2取組目に分けて対象取組、作物名、実施面積を記載してください。
- ・ 主作物を1回作付けし複数の取組を実施する場合は、2取組目の作物名は、記載不要です。  
また、主作物を複数回作付けして複数の取組を実施する場合は作物名を記載してください。

### 1. 構成員別実施面積

氏名	1取組目		2取組目		実施面積			持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画の認定					備考
	対象取組 (内容)	化学肥料及び化学合成農薬を5割以上低減する活動(作物名)	対象取組 (内容)	化学肥料及び化学合成農薬を5割以上低減する活動(作物名)	1取組目 (a)①	2取組目 (a)②	合計 (a)(①+②)	特例措置					
								有	集落 営農	導入 指針	有機 農業	特裁 認証	
農林 太郎	IPMの取組	水稻	カバークロップ (ひえ)		50	50	100	■	□	□	□	□	
農林 次郎	有機農業	水稻	冬期湛水管理 (有機質肥料未施用、 畦補強等実施)		100	100	200	□	□	□	□	■	
農林 三郎	IPMの取組	水稻	堆肥の施用	たまねぎ	150	100	250	■	□	□	□	■	
株式会社環境	有機農業	ほうれん草	有機農業	ほうれん草	80	40	120	□	□	□	■	□	
株式会社環境	草生栽培	りんご			300		300	■	□	□	□	□	
合計(a)					680	290	970	3			1	2	

作物名は、「水稻、飼料作物、麦・豆類、いも・野菜類、果樹・茶、花き・その他」程度の分類で記載することも可能です。

エコファーマー要件を満たす場合は「有」、特例措置の適用を受ける場合は該当する項目にチェックしてください。複数取組に取り組む、エコファーマー及び特例措置両方で要件を満たす場合は、「有」、「特例措置」両方にチェックしてください。  
※チェックは■又は☑にしてください。  
合計欄には、要件を満たす人数を記載してください。

【特例措置の項目】  
集落営農：共同販売経理を行う集落営農が取り組む場合  
導入指針：導入指針に定められていない作物に取り組む場合  
有機農業：有機農業の取組を行う場合  
特裁認証：特別栽培農産物等の認証を受けて取り組む場合

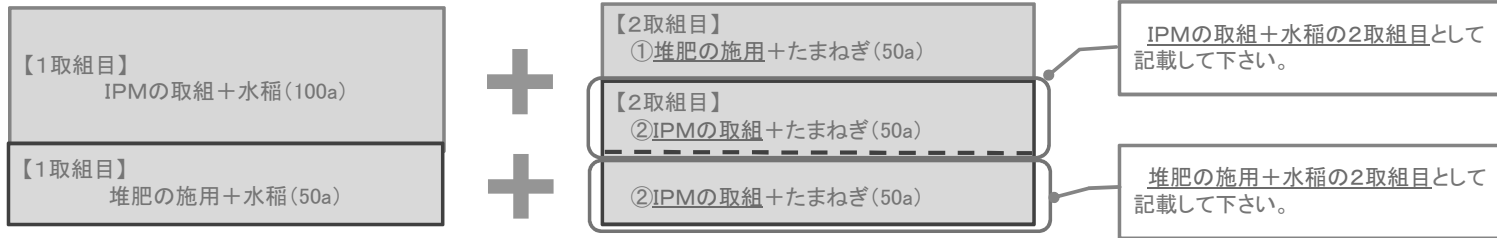
- (注1) 生産者別、1取組目の対象取組別に記載すること。  
 (注2) 「持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画の認定」のうち特例措置の欄は、本表に取り組む場合は「導入指針」、有機農業の取組を行う場合は「有機農業」、特別栽培を行う場合は「特別栽培」にチェックすること。  
 (注3) 必要に応じて行を追加すること。

(添付様式8) 複数取組に取り組む場合の記載例

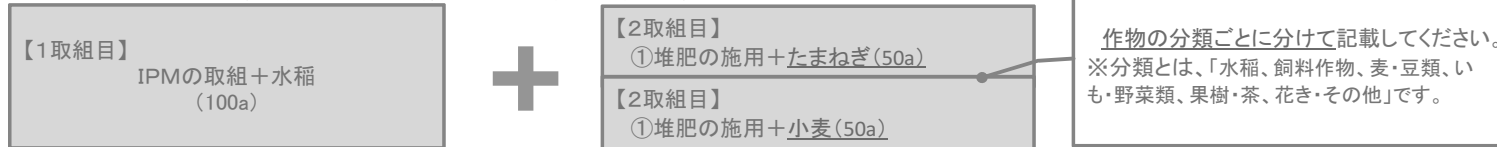
自然環境の保全に資する生産方式を導入した農業生産活動の実施面積

複数取組に取り組む場合は、1取組目の対象活動を行ったほ場を基準にして、2取組目の対象活動を記載してください。

(例1) 1取組目を行ったほ場で、2取組目に2種類の取組を栽培した場合



(例2) 1取組目を行ったほ場で、2取組目に分類が異なる作物を栽培した場合



<記載例>

氏名	1取組目		2取組目		実施面積			持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画の認定					備考	
	対象取組 (内容)	化学肥料及び化学合成農薬を5割以上低減する活動(作物名)	対象取組 (内容)	化学肥料及び化学合成農薬を5割以上低減する活動(作物名)	1取組目 (a)①	2取組目 (a)②	合計 (a)(①+②)	特例措置						
								有	集落 営農	導入 指針	有機 農業	特裁 認証		
例1 農林 四郎	IPMの取組	水稲	堆肥の施用	たまねぎ	50	50	100							1取組目の対象活動を基準にして2取組目を記載してください。
	IPMの取組	水稲	IPMの取組	たまねぎ	50	50	100							
	堆肥の施用	水稲	IPMの取組	たまねぎ	50	50	100							
例1 農林 四郎	IPMの取組	水稲	堆肥の施用	たまねぎ	100	50	200							1取組目について合計して記載することも可能です。
			IPMの取組	たまねぎ		50								
	堆肥の施用	水稲	IPMの取組	たまねぎ	50	50	100	■	□	□	□	□		
例2 農林 五郎	IPMの取組	水稲	堆肥の施用	たまねぎ	50	50	100							作物の分類ごとに分けて記載してください。
	IPMの取組	水稲	堆肥の施用	小麦	50	50	100							